

株式会社パイオラックス

株主の皆様へ

2019年12月発行

PIOLAX



弾性を創造するパイオニア

Pioneer of Elasticity

(証券コード：5988)

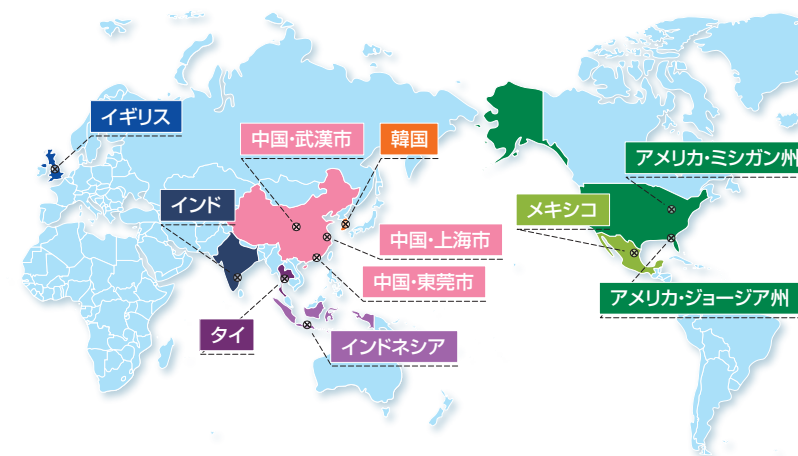
会社概要・株式の状況

■ 会社概要 (2019年9月30日現在)

設立 1939年9月24日
資本金 29億6,097万円
従業員 単体：568名
連結：3,202名

本社所在地
〒240-0023
神奈川県横浜市保土ケ谷区
岩井町51番地
TEL 045-731-1211 (代表)

■ グローバルネットワーク



■ 役員の状況 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	島津幸彦
代表取締役専務	永峯道男
常務取締役	佐藤精一
取締役	鈴木徹
取締役	岡徹
取締役(監査等委員)	長村由紀夫
取締役(監査等委員)	今西浩之
取締役(監査等委員)	浅野謙一
(補)取締役(監査等委員)	會澤安生

■ 株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行済株式総数 39,254,100株
株主総数 5,335名

ホームページ
<https://www.piolax.co.jp/>

パイオラックス

■ 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内
および特別口座の 一丁目4番1号
口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間：土日祝を除く
平日9:00～17:00



Q. 事業分野の9割を占める自動車関連分野について展望をお聞かせください。

自動車業界は100年に一度の変革期と言われ、CASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）という言葉がキーワードになっています。自動車部品メーカーとしては、製品群が多く、既に納入実績もある電動化分野への期待は大きいですが、電動化に囚われず、CASE全てを商機と捉え、部品というハード面で貢献していきたいと思っています。CASEに対応する開発チームを立ち上げたほか、多様な試作品開発に着手し、次世代車への取り組みを推進していきます。



Q. もう一つの注力分野である医療事業についての展望はいかがでしょうか。

自動車部品で培った「弾性」の技術を活用し、医療機器の開発・製造に取り組んでいます。手術治療においても、出来る限り体に傷を付けず、患者の負担を減らした「低侵襲治療」が主流になりつつあります。当社の主力製品はそうした血管内治療・内視鏡治療に使用するためのカテーテルやガイドワイヤーなどです。全体に占める売上比率はまだ10%未満ですが、売上50億円の早期実現を目標に、自動車部品と並ぶ経営の柱に育てていきます。

Q. 当中間期の業績の概要についてお聞かせください。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界では、海外では北米、欧州、中国など減産が続いている状況ではあるものの、国内では消費税増税前の駆け込み需要があったこと等により、国内生産台数は前年と比較して増加となりました。

このような需要環境のもと、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルに拡販活動を継続的に推進いたしました。主に欧米・中国の減産影響を受け、売上高は31,934百万円と、前期比△2,662百万円（7.7%）の減収となりました。一方利益面におきましても、より一層の合理化を推進いたしました。減収による限界利益の減少並びに材料費の高騰等による経費負担が増加したこと等により、営業利益は3,644百万円（前期比31.0%減）、経常利益は3,992百万円（前期比31.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,129百万円（前期比27.8%減）となりました。

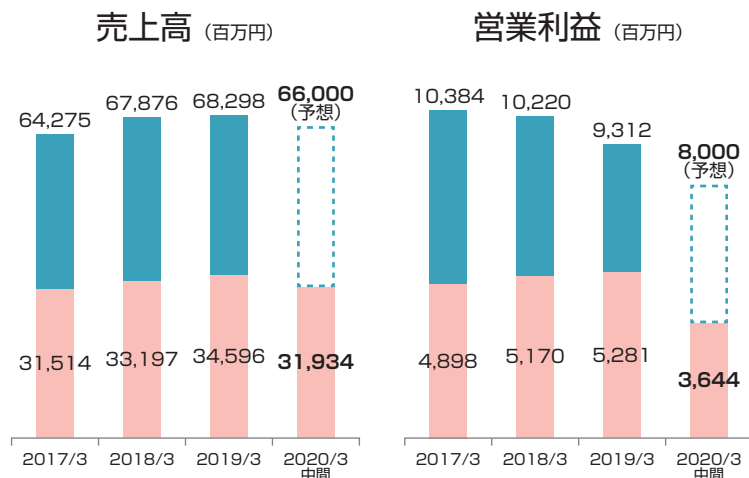
Q. 株主の皆様への還元についてお聞かせください。

当社は安定配当の継続をベースとしつつ、業績に裏付けられた弾力的な利益還元を行うことを利益配分の基本方針としております。前回の中期経営計画における連結配当性向25%は19年度に達成見込みであり、新たに連結配当性向30%を中期目標としております。また、事業展開の節目には記念配当を実施してまいりました。

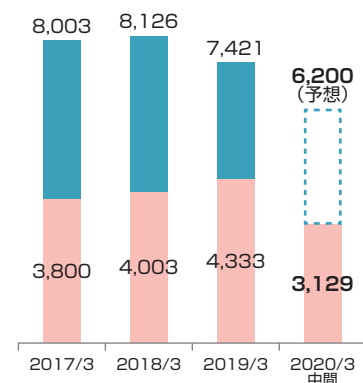
今後も利益成長に伴う安定的な配当を実施してまいります。

財務ハイライト

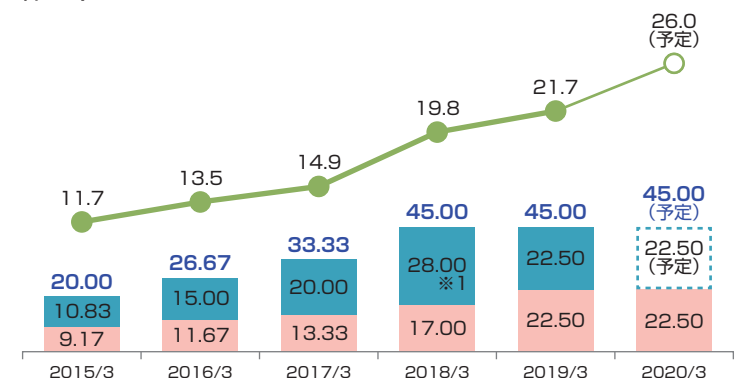
■ 連結通期
■ 連結中間



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (百万円)



配当について



※1：記念配当5.00円を含んでおります。
※2：配当は、2017年4月1日を効力発生日とした株式分割（普通株式1株を3株に分割）後の値に調整しております。

【自動車関連分野】

自動車関連は、パイオラックス全体の売上高の中でも約9割を占める主力分野です。1台の自動車ですら当社グループの製品が1,500個以上使用されるケースも珍しくありません。その内容は、精密ばね、樹脂ファスナー、それらを複合して組み立てた小型ユニット部品など、どれも自動車には不可欠な製品ばかりです。国内のカーメーカーをはじめ、海外ブランド車とも取引があります。

■ ファスナー部品

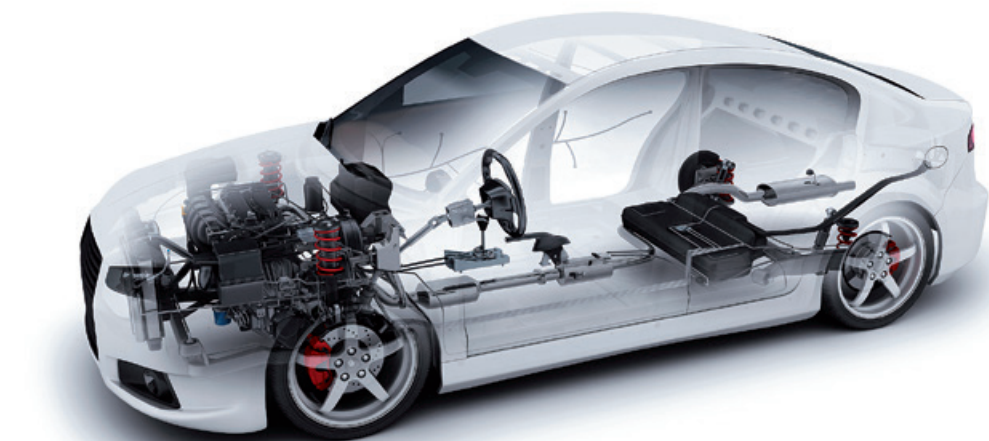


内外装部品の固定や電線を束ねる各種クリップ類、パイプとゴムホースの接合部で、漏れ・抜け止めを防ぐホースクランプなどがある。

■ 開閉機構部品



グローブボックスなどのオープン機構に用いられるエアダンパーやラッチなどがある。



■ 駆動系部品



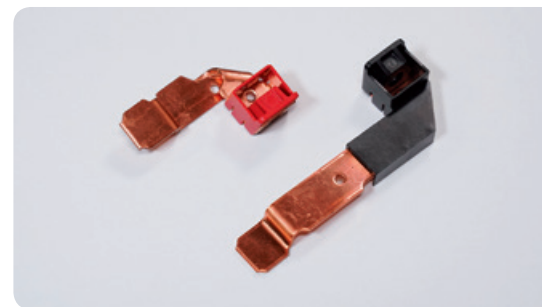
トランスミッションなどの自動車の駆動機構に用いられるリテーナーASSYや部品保持力を高めるためのスナップリングなどがある。

■ 燃料系部品



燃料を安全で確実に給油・貯蔵・供給するために用いられる各種バルブ類を中心に、チューブ、フィルターなどがある。

◆次世代車への対応◆



パイオラックスの強みである「金属と樹脂の組み合わせ」を次世代車開発にも活用。

国内関連会社（㈱パイオラックス エイチエフエス）にてEV部品の増産体制を強化するほか、EV関連の商品開発を加速化しております。

【医療関連分野】



自動車部品製造で培った高度な弾性技術、表面処理技術などを応用し、医療機器分野においても、先進性のある製品を開発・製造・販売しております。

身体への負担が少ない「低侵襲治療」用の医療機器を開発し、弾性技術で医療に貢献することを目指しております。

◆新製品紹介◆ 販売名：マイクロマジック

肝臓がんの治療商品として当社が開発した『マイクロマジック』は、これまでのカテーテルを使った方法から医療用の油と抗がん剤を混ぜ、小さく丸い抗がん剤水溶液を油の中へ綺麗に封じ込めることで、更に時間をかけて病変部に抗がん剤を届けることを可能にしました。

世界初・オンリーワン製品として、これからの肝臓がん治療で活躍するとともに、新しい治療への応用も研究され始めています。



欧州車への拡販：フォルクスワーゲンから初の受注獲得

2016年にドイツ営業所を始動し、欧州カーメーカーへの拡販に注力してまいりましたが、日本・メキシコ・ドイツ・英国・米国の5カ国5拠点でのクロスファンクション活動が奏功し、メキシコ拠点において、フォルクスワーゲン（VW）社から初の受注を獲得しました。採用部品は、電装ハーネスを車体に固定するハーネスクリップ等です。

今後もグローバルでの連携を強化し、採用車種および部品の拡大に努めてまいります。



ハーネスクリップ



ティグアン



ジェッタ

中国・武漢にて駆動系部品の生産スタート

中国では、燃費規制の強化を受け、燃費効率の良いAT/CVT車向けの駆動系部品の需要が高まっております。中国第2の生産拠点である武漢パイオラックスでは、駆動系部品の新規受注増加に対応するため、工場空きスペースに設備を増強。2020年4月より、駆動系部品の生産に着手する予定です。中国における駆動系部品のニーズを取り込み、売上を増強してまいります。



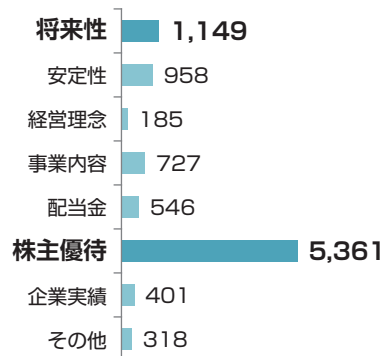
武漢パイオラックス



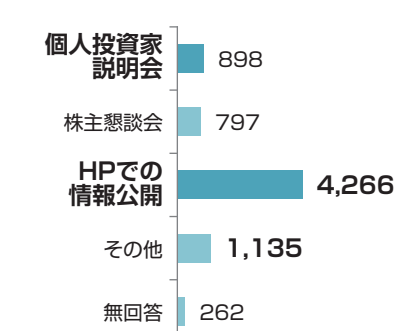
駆動系部品

「2019年度株主優待アンケート」におきまして、7,325名（回答率85%）と大変多くの株主様よりご回答をお寄せいただきました。アンケートのご協力につきまして御礼を申し上げますとともに、主な集計結果をご報告させていただきます。寄せられました貴重なご意見は今後のIR活動の参考にさせていただき所存です。

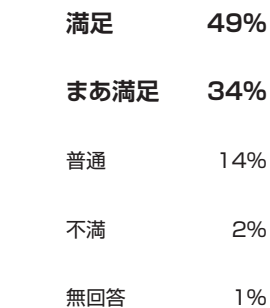
Q 当社に投資された理由



Q 今後、当社に望まれるIR活動



Q 今回の株主優待の満足度



<株主様からいただいたコメント>

- ・選ぶのが楽しいカタログで良い優待に感謝しています。
- ・今までいただいていたオリーブオイルが無くなってしまい残念です。来年は復活を希望します。
- ・他の企業と比較しても株主優待のカタログギフトの内容が品数も多くとても充実していて良い。3年以上長期保有者はQUOカードが届くので今後も長期で保有したい。

■株主優待制度のご案内

毎年3月末日現在の1単元（100株）以上保有の株主様にグルメギフト券をお送りしております。

また、2017年度より、1単元（100株）以上を3年以上継続保有の株主様を対象に1,000円のオリジナルQUOカード1枚を進呈させていただいております。

◀カタログギフト



▼当社オリジナルQUOカード

